

幼児文化芸術

幼児と『文化・芸術』

今年の冬は暖冬といわれながらも寒い日が続いています。一月二十日の雪が積もった日に春日井市で親子コンサートが開催されました。

未就学児はなかなか観賞する機会が少ない生のオペラケストラによるクラシックの白鳥の湖やさんぽなどの演奏に子どもたちは目をキラキラと輝かせ感動に包まれた楽しいひとときでした。

感性に優れている幼児期に本物に触れる事は心が健やかに成長するのに大事だと思います。

三月二十日には第4回幼児文化芸術祭が開催され、『希望の歌』を千人以上で合唱します。

是非皆様と共に感動を味わいたいと思います。

中央台幼稚園 園長 水谷 行信

天使の歌声

三月にモリコロで行われます『幼児文化芸術祭』も、今年で第四回目を迎えます。毎年歌われる『希望の歌』(ペーター・ベン交響曲第九番)は、年に一度八園が集って合唱する大変大きなイベントです。何百人と参加される会場では、もちろん容易にお互いを知り得る訳ではありませんが、お互いの顔を知らなくても、一緒に歌う事で心が繋がって行きます。そこに会話はなくても歌の響きが耳から伝わり、自分の声と重なること、ひとつの想いとなり心に溶け込むからです。

それにしても、子どもの歌声はなぜこんなにも心に響くのでしょうか、不思議に思います。しかし、子どもの純粋無垢な心が歌声と共に耳から入り、自分の心に溶け込むのだと考えれば、それも納得が行きます。

歌詞の中にある「幸せだから笑うんじゃない、笑っているから幸せになれる」という部分。子どもたちは、まだその意味を知らないでしょう。でも、色々な荒波にもまれて生きて来た大人たちなら、わかるはずですよ。子どもたちの無垢な歌声は、知らず知らず私たち大人の心に歌詞の真髄を突いて来るのです。だからこそ子どもたちの声は天使の声なのだと思います。

みんなが笑顔でいられるように、明日につながる希望の歌を、皆さんで響かせましょう。

栄光八事幼稚園 副園長 釜谷 康江

2016年2月吉日

第9号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園(天白区)
 - 小幡あさひ幼稚園(守山区)
 - 志だみ幼稚園(守山区)
 - 中央台幼稚園(春日井市)
 - とみよし幼稚園(愛西市)
 - 名古屋西幼稚園(西区)
 - 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
 - 美里幼稚園(豊田市)
- ※50音順

会員園ピックアップ

栄光八事幼稚園

今日から

バレリーナ

一月二十七日文化芸術体験が行われました。今回はバレエです。講師に都筑裕子先生をお呼びし、ピアノに合わせ簡単な動きやステップを体験させていただきました。

では、まずはご挨拶から。中指と親指をくっつけて指先がきれいに見えるようにしましょう。そして身体の前に両手で輪を作り、最後にかかとを揃えて立つたら姿勢の出来上がりです。右足を後ろに引いて両手を広げてご挨拶。バレエの挨拶で踊ってポーズを取りながらするんですね。

さあ、いよいよ音楽に合わせて踊ります。つま先を立ててステップしたり、くるくる回ったり、片足を高くあげてポーズしたり、かわいらしいバレリーナがいっぱいいます。

みんな足先まできまっていますよ！

そして全員集合タイムでは、アンジェリーナという小さな女の子がバレリーナになるお話と、司会進行のノムノムがして下さいます。

た。いつもながら、お話しと共に流れる美しいピアノの音が、物語のイメージをより一層深めます。

その後、アンジェリーナのような都筑裕子先生が、華麗なバレエを踊って下さいました。

夢のようなひとときをありがとうございました。



夢のようなひとときをありがとうございました。

美里幼稚園

親子で歌おう!

十二月十一日、「希望の歌くペーター交響曲第九番」を親子で歌いました。

子ども達は、保育室で練習していた時から、笑顔で楽しく歌う事ができ、難しいドイツ語の歌詞も歌詞カードを見ながら進んで歌う姿が見られました。

当日は、歌唱指導の豊田かおり先生に丁寧な教えて頂き、どの言葉をも歌ったらいよいよか学びました。一番の歌詞で伝えて欲しい言葉は「笑顔」という言葉で、歌詞の中で3回出て来るのですが、何回目を強調したいか、その為他の部分はどうか歌ったらいよいよか問われると、子ども達は自ら考え「優しく歌う」「小さく歌う」と良いのかな」とより心を込めて歌う事ができる様になっていました。

ドイツ語では普段使うことのない言葉に戸惑う子どもも多くなりましたが、豊田かおり先生の発音をよく聞き、まねをする姿が見られました。

最後には、子ども達と保護者が向かい合い、互いの顔を見ながら、少し照れつつも、楽しそうに歌う事ができました。

普段はなかなかできない経験ができて良かったです。



Information

第4回

幼児文化芸術祭

日時:平成28年3月20日
午前11:15~12:15
場所:愛・地球博記念公園
(モリコロパーク)内体育館
内容:「親子舞踏会」
「第九コンサート」
出演

小幡あさひ幼稚園

親子アルパ体験

夏休みの八月二十四日(月)に、幼児文化芸術体験「民族楽器に触れよう☆親子アルパ体験」を、午前2回・午後1回の3回に分けて行いました。

アルパは、南アメリカ大陸のアルゼンチンの北部にある亜熱帯の国パラグアイの、ハーブを一回り小さくしたような民族楽器です。

会が始まると華やかな民族衣装に身を包んだ3名の演者が入場しました。まずは「音色を聴いてみよう」ということで、短めの曲を演奏して下さり、美しい音色が全身を包み込むように響き渡りました。

続いて司会の方の軽妙なトークで、アルパの紹介、裏表の違うパラグアイの国旗の紹介と進み、いよいよ皆でアルパを奏でてみました。

在園児だけでなく保護者の方々と一緒に来た兄弟姉妹も触れることができました。

体験の後はアルパのバックミュージックにのせて絵本のお話タイムがあり、最後はアルパのミニコンサートで締めくくりました。アルパの音色に、参加された皆さんとても穏やかな笑顔で、夏の暑さをしばし忘れる素敵なお話を聞きました。

